

## 古民家の移築を進め「みはらしの里」の整備促進を図ります

### － 平成21年度 国営ひたち海浜公園事業概要 －

#### 記者発表資料

国営ひたち海浜公園は、事業費12.7億円(対前年度当初比6%減)をもって公園の整備・維持管理を行います。事業のポイントは以下の通りです。

#### ●公園の整備

- ・ 古民家の移築(みはらしの里)  
平成18年度より整備を進めている古民家について、前年度移築復元を行った本家に引き続き、その分家の移築復元および外構整備を行います。
- ・ その他の改修・整備  
西駐車場のバリアフリー改修および西口・翼のゲートの耐震改修を行います。

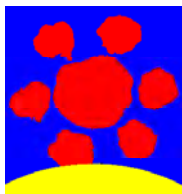
#### ●公園の管理

- ・ 引き続き公園の管理運営業務を継続し、利用者満足度を高め利用促進を図ります。

#### ●その他

- ・ 前年度までの予算で整備の完了した、みはらしエリアのサイクル園路4.8haおよび砂丘エリアの一部(砂と海の林)7.3haを去る4月18日に追加開園しています。

平成21年4月30日



### 国 営 ひたち海浜公園

Hitachi Seaside Park

- 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所
- (財)公園緑地管理財団 ひたち公園管理センター

#### 記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、  
県政記者クラブ(茨城)

#### 問い合わせ先

<p>●整備について 国土交通省 関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所</p> <p>工務課長 <small>きくち かずみ</small>                   菊地 一美</p> <p>調査・品質確保課長 <small>いしづか かつみ</small>                           石塚 克己</p> <p>電話029-265-9412~3</p>	<p>●維持管理・イベント運営などについて (財)公園緑地管理財団 ひたち公園管理センター</p> <p>企画課長 <small>ほづみ かずひと</small>                   穂積 計人</p> <p>電話029-265-9001</p>
--	---

●ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp/>

# 平成21年度 国営常陸海浜公園の事業概要

## 1. 国営ひたち海浜公園の概要

本公園は、首都圏におけるレクリエーション需要に対応するために設置された、イ号国営公園です。昭和54年から事業着手し、平成3年に第1期開園し、その後も順次開園をしてきています。

- 場 所 茨城県ひたちなか市(ひたちなか地区)
- 計画面積 350ha
- 供用面積 153.2ha(平成21年4月18日現在)
- 入園者数 平成20年度 約119万人

## 2. 平成21年度の予算

- 国営公園整備費 : 535百万円(平成20年度当初: 600百万円)
- 国営公園維持管理費: 739百万円(平成20年度当初: 755百万円)

## 3. 公園の整備

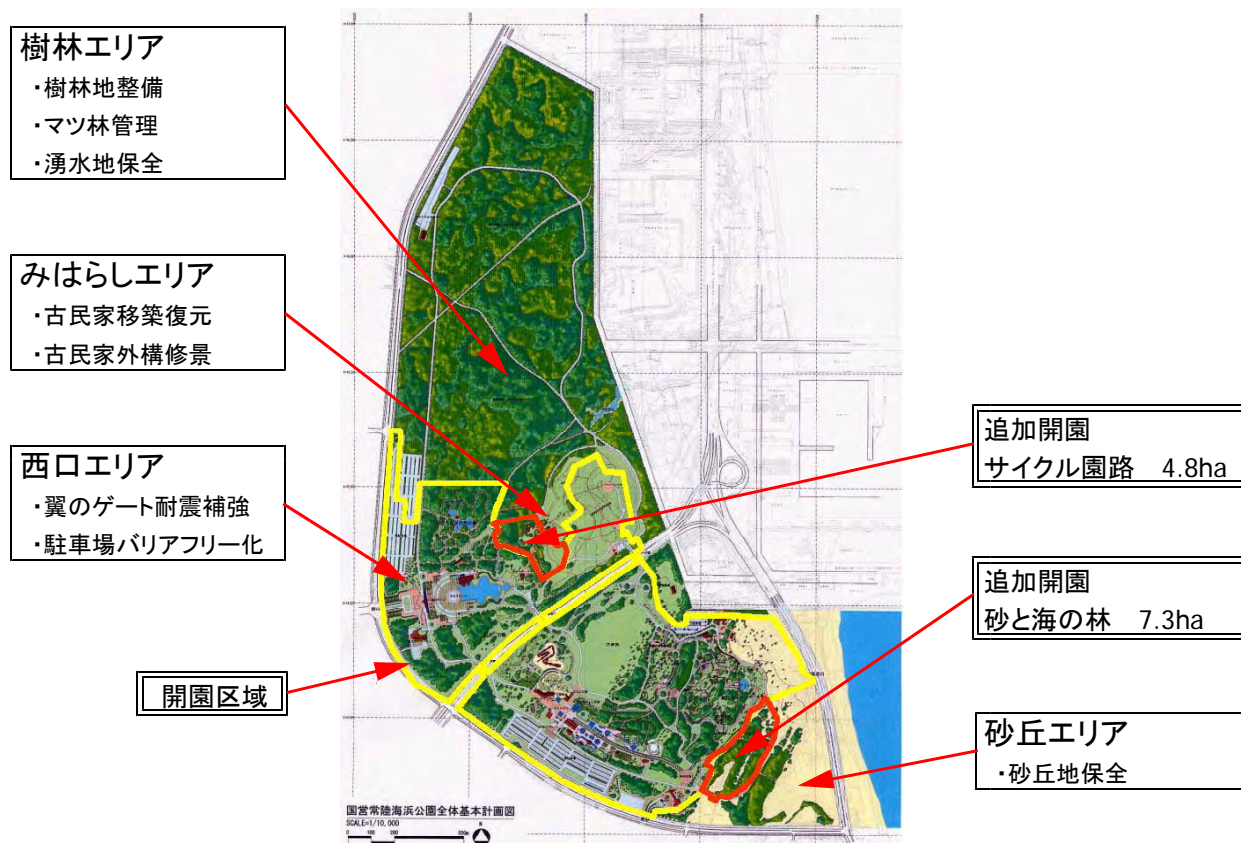
### (1) 平成21年度の主な公園整備の概要

#### ①古民家の移築

みはらしの里において、平成18年度より整備を進めている古民家について、前年度移築復元を行った本家に引き続き、その分家の移築復元および外構整備を行います。

#### ②その他の改修・整備

公園を訪れる全ての方々が安全かつ快適に公園を利用できるよう、西駐車場のバリアフリー改修および西口・翼のゲートの耐震改修を行います。



国営常陸海浜公園平面図

## (2) 平成21年度に整備を行う主な施設

### ①古民家の移築(みはらしの里)

国営ひたち海浜公園の基本理念に基づき、現在、公園となっている土地に、かつてこの地に存在していた集落を再現することで、ひたちの歴史・文化に触れ、楽しみながら学ぶことが可能な活用型の古民家園の整備を行っています。

平成18年度には、敷地造成、園路、里の家(集会所)、トイレを、平成19年度には、防災基盤の整備を行い、平成20年度には、第1号古民家本家の移築復元を行いました。

平成21年度は、第1号古民家分家の移築復元および外構整備を行います。第1号古民家分家は、本家に隣接して茨城県稲敷市(旧新利根村)に建っていた古民家(分家)を1990年頃に解体し主要部材を保存しています。部材調査により墨書が発見されたことから建立の年代が明らかになっています。墨書には1707年(宝栄三年)とあり、茨城県内で最も古いもののひとつです。

### ●参考

#### 1) 里の家(集会所)

茨城県水戸市(旧常澄村)に建っていた農家を移築復元したものであり、みはらしの里における様々な活動の拠点(集会所)として位置付けられています。(平成18年度)

#### 2) 第1号古民家本家

分家の部材調査の結果から建立の年代が17世紀中期と類推できている古民家です。茨城県稲敷市(旧新利根村)に建っていた古民家(本家)を1990年頃に解体し、主要部材を保存していたものです。平成20年度に工事着手し、現在施工中です。



↑ 里の家・古民家本家・分家

### ②その他の改修・整備(西口・翼のゲート)

西口・翼のゲートは国営ひたち海浜公園のメインゲートと位置づけられる施設で、青い翼状の形をしています。昭和59年度に設計を行い、昭和61年度から平成3年度にかけて施工を行いました。

平成19年度に耐震性能精査を実施したところ、下部構造において強度が不足する部位があることが判明したため、耐震改修を実施します。

西口・翼のゲート→



## 4. 公園の管理

### (1) 概要

入園者に快適な公園利用を提供するため、植物管理、建物管理、工作物管理、清掃、広報・イベント運営などを適切に行います。また、顔の見える管理でサービス向上を図り、お客様への満足度を向上させます。

本公園は茨城県内有数の観光拠点の一つとなっていることから、公園だけでなく周辺地域・周辺観光スポットと連携して観光エリアとしての認知度の向上を図り、茨城観光の魅力向上を図ります。その中でも特にスイセンやネモフィラ、スカシユリなど花の名所としての知名度の向上・定着をさらに進め、広域利用及びお客様の満足度の向上を図ります。

(2) 平成21年度の管理運営の計画

①利用促進と質の高いサービス

国営ひたち海浜公園では、自然資源を最大限に活用した「花修景計画の内容の充実」を図ることで「花の名所」としての認知度を高め「行ってみたい」と思わせる魅力的な公園とすると共に、地域の花の名所等の観光施設と連携して広域的な利用促進方策を実施します。

②地域と連携した参画型の公園管理の促進

公園管理に関するボランティア等(ハーブパートナー、ひたちガーデナーズ倶楽部、海浜植物パートナー、スイセンガイド、フォトパートナー、BMXパートナー、里の家管理団体)の整備・組織化を強化し、市民活動の拠点とすることにより公園の活性化につとめ、市民に開かれた、地域とともに歩む公園を目指します。

③環境の保全と環境資源を活用した環境教育などの充実と利用拡大

公園に残された海浜部から森林部へ展開する湧水地や海浜植生などの自然環境の重要性を、自然資源を活用した環境プログラムの実施により次世代の子供たちや国民に継承します。

(3) 平成21年度の主な行事予定

<平成21年>

- スイセンファンタジー2009 ( 3月20日～ 4月12日 実施済)
- チューリップワールド ( 4月18日～ 4月29日 実施済)
- TEENS ROCK in HITACHINAKA 2009 ( 4月26日 実施済)
- ネモフィラハーモニー ( 5月 2日～ 5月24日)
- ひたちなか大草原の花火と音楽 ( 5月30日)
- ROCK IN JAPAN FES.2009 ( 7月31日～ 8月 2日)
- コキア de moco フェスタ ( 9月19日～10月25日)
- オータムフェスティバル (10月18日)
- 冬フェア (12月19日～ 1月11日)

<平成22年>

- スイセンファンタジー2010 (平成22年3月中旬～4月上旬)

(4) 平成21年度の無料開園日

毎年、国が提唱し、全国的に実施している「春の都市緑化推進運動」、「秋の都市緑化月間」などの行事にあわせて、都市公園、都市緑化の円滑な推進を図り、広く国民の理解と協力を得るために、国営公園における無料開園を実施します。

なお、駐車場については、有料となります。

- 平成21年 4月26日( 日 ) 春の都市緑化推進運動に基づくもの(実施済)
- 平成21年 5月 4日( 祝 ) みどりの日
- 平成21年 5月 5日( 祝 ) 子供の日\*
- 平成21年 7月 5日( 日 ) 国土交通Dayに基づくもの
- 平成21年10月 4日( 日 ) 秋の都市緑化月間に基づくもの
- 平成21年10月18日( 日 ) 秋の都市緑化月間に基づくもの

※「子どもの日」は、小学生・中学生及び相当する者のみ無料

## 5. その他

### (1) 平成21年度の供用箇所

#### ① みはらしの里サイクル園路(面積:4.8ha、4月18日供用)

サイクル園路の追加供用により、西口方面からみはらしの里・みはらしの丘への利便性が向上しました。



↑ サイクル園路



↑ 駐輪場

#### ② 砂と海の林(面積:7.3ha、4月18日供用)

砂と海の林は、砂丘松林の自然環境を活かしたエリアで、利用者が自然の景観の中を散策し休憩することができます。海側に視界が開けた場所に、海や砂浜を見下ろす海拔45mの眺望広場(海の見える丘)等を整備しました。



↑ 海の見える丘からの眺望

### (2) 入園者数の推移

平成20年度の国営ひたち海浜公園の入園者数は1,194,100人、開園以来の入園者数の累計は14,366,658人でした。

